令和4年度米子市子ども・子育て支援事業計画の実施状況について

幼児期の教育・保育

計画期間における「幼児期の教育・保育の量の見込み(必要利用定員総数)」に対応するよう、「確保の内容及びその実施時期」を定め、必要な教育・保育施設及び地域型保育 事業を整備

単位:人

											平位 . 八									
	令和元年度			令和2年度				令和3年度					令和4年度							
		1号 2号(幼) 2	9년(년)	3号	1号 2	2号(幼)	0무(伊)	3号		1号	2号(幼):	0月(伊)	3号		1号	2号(幼)	0.문.(/모)	3号		
		1万	2万(列)	2万(床)	375	175	4 77 (A)]) 47	2万(床)	0歳	1・2歳	175	2万(列)	2万(休)	0歳	1・2歳	175	2万(初)	4万(1末)	0歳	1・2歳
量の見込み		850	592	2, 431	2, 167	669	557	2,655	597	1,791	660	549	2,618	587	1,768	637	529	2, 526	578	1,770
確保の内容	特定教育・保育施設		2, 382	2, 511	1,867		1,967	2, 577	350	1,433		1, 967	2, 577	350	1,433		1,967	2, 577	350	1, 433
	特定地域型保育事業	_	_	-	335	1	-	_	109	216	_	_	ı	109	216	_	-	-	109	216
	小計 (①)		2, 382	2, 511	2, 202		1,967	2, 577	459	1,649		1, 967	2,577	459	1,649		1, 967	2, 577	459	1,649
++*	特定教育・保育施設		1, 949	2, 561	1,771		1,962	2, 593	356	1,435		1, 963	2,590	375	1,448		1, 799	2, 578	385	1, 449
実績 (利用定員数)	特定地域型保育事業	_	_	-	325	1	-	_	109	216	_	_	ı	106	192	_	-	-	97	175
(利加足負数)	小計 (②)		1, 949	2, 561	2,096	•	1,962	2, 593	465	1,651		1, 963	2,590	481	1,640		1, 799	2, 578	482	1,624
2-1			▲ 433	50	▲ 106		▲ 5	16	6	2		▲ 4	13	22	▲ 9		▲ 168	1	23	▲ 25
														特定教育	保育施設		1, 283	2, 412	393	1, 359
										実利用者数特定地域型保育						-	_	-	87	169
														小計	(3)		1, 283	2, 412	480	1, 528
									②-③(定員の余剰分)				516	166	2	96				

(参考)	届出保育施設	3-5歳児	0歳児	1・2歳児
	利用定員数④	390	129	314
	実利用者数⑤	265	67	253
	④-⑤(定員の余剰分)	125	62	61

			4	う和5年月	度		令和6年度					
	1号	2号(幼)	2号(保)	3-	号	1号	2号(幼)	2号(保)	3号			
				0歳	1・2歳				0歳	1・2歳		
①量の見込み		627	522	2, 489	569	1,743	619	515	2, 456	561	1,716	
	特定教育・保育施設		1, 967	2, 577	350	1, 433		1,967	2, 577	350	1, 433	
②確保の内容	特定地域型保育事業	-	-	-	109	216	-	-	-	109	216	
	小計(②')		1, 967	2,577	459	1,649		1,967	2, 577	459	1,649	
	特定教育•保育施設											
③実績 (利用定員数)	特定地域型保育事業	-	-	-			-	-	-			
	小計(③')											
3'-2'												

評価及び課題等

利用定員数は、1号、2号及び3号全ての枠で、前年度と比較し、減少した。主な要因は、1号は、新制度に移行した幼稚園が利用状況に合わせた利用定員を設定したこと、2号は、利用定員の内訳を変更した施設があったこと、3号は、令和4年度末で休止をした施設があったこと、などが挙げられる。

実利用者数は、利用定員数に対して少なく、希望者は利用できる状況にある。しかし、0歳児の枠は利用定員数と実利用者数との差がほとんど無く、また、令和4年度の出生数は1,173人で、前年度と比較してわずかに減少(令和3年度の出生数:1,181人、▲8人)したものの、0歳児の実利用者数は前年度と比較するとわずかだが増加している。さらに、保育士不足により受入枠を減らす動きもある。

このようなことから、特に0歳児の受入枠について、引き続き状況を注視しつつ、各施設の状況や利用者のニーズを踏まえながら適切な受入枠を確保していくとともに、保育人材を確保していく必要がある。